| 学科名 | ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | ○ | 後期 | |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| ソーイングⅠ | | | | | | | | | 2.5単位 | | | |
| 担当教員 | 井手　真由 | | | | 科目区分 | 講義 | | | 演習 | | 実習 | 100% |

| 実務経験者の授業科目 | ○ | 経験<br>内容 | 経験年数:3年　業務内容:レディースアパレルメーカー。婦人服アパレルメーカー、ニット・カットDIVにて企画デザイナー及び生産管理業務に従事。アパレル衣料の企画製作、商社。海外生産等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。 |
|---|---|---|---|

| 授業との関連性 | 縫製技術の基礎を基に、各アイテムの基本製図方法～応用展開を指導。<br>企業で求められる多種多様な衣料のデザインに対応した縫製技術能力を修得する。 |
|---|---|
| 授業目的 | 縫製技術の基本を身に付け、各種アイテムの基本的な仕様、工程、構造を製作することで学ぶ。 |
| | 製作を通して、布地の扱い方、ミシン、針との関係を学び、基礎技術を身に付ける。 |
| 到達目標 | 基本的な製図を理解し、工業用パターンを製作できるようになる。 |
| | 縫製を通して、服の構造、始末の違いなどの知識を習得し、技術を身に付ける |

## 授業概要

製作を通し、作業スケジュールを自分で管理出来るように指導。製作したものはシルエットチェックを行い、スタイリング提案、プレゼン能力を養う。また、製作物を染色するなど、他授業との連携を図る。

| 時期 | コマ数 | 授業内容(授業展開) |
|---|---|---|
| 4月 | 8 | ミシン・道具について　基礎縫い・縫い代始末について理解・習得する<br>・針と糸の関係、ミシンの使い方習得　・縫い代始末、ミシン縫い、手まつり、雑巾製作 |
| | 12 | スカート(裏無し)製作<br>＊ウエストギャザー仕様<br>・スカートの構造を学び、WとH寸法の差を処理する方法を理解する<br>・工業用パターン、仕様書、工程分析表を理解する。<br>ファーストパターン作成、工業用パターン作成、裁断、縫製 |
| 5月 | 12 | ワンピース製作<br>※製作後、素材で製品染め<br>＊ワンピースの基本構造を知る<br>＊コンシールファスナー付けを習得する<br>＊身体の形状への理解を深め、胸ぐせダーツ、ウエストダーツの展開を理解する<br>ファーストパターン作成、工業用パターン作成、裁断、縫製 |
| 6月 | 31 | パンツ製作<br>＊パンツの基本構造を知る |
| | | ＊工業用パターンの作成、仕様工程、スケジュールに沿った作業が出来るようになる。<br>(切替ポケット、シームポケット)<br>※各自デザイン(条件…ポケット付、持出し・見返し付ファスナー、丈は膝より長い事)<br>ファーストパターン作成、仮縫い、パターン修正、工業用パターン作成、裁断、縫製 |
| 7月 | | |
| 8月 | | |
| 9月 | 10 | 【ジャケット・タイトスカート】<br>＊総裏仕立てのジャケット製作、裏付きのタイトスカート製作<br>ファーストパターン作成、仮縫い、パターン修正、工業用パターン作成 |

| 留意事項 | |
|---|---|
| 教材、資料等 | 文化ファッション体系『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』<br>ヒロ・デザインジャケット冊子、プリントコピー |
| 評価方法<br>対象・比重 | ・製作物75%・提出物(レポート)10%・取組姿勢15%<br>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。 |

| 学科名 | ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | | 後期 | ○ |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| ソーイングⅠ | | | | | | | | | 2.5単位 | | | |
| 担当教員 | 井手　真由 | | | | 科目区分 | 講義 | | 演習 | | 実習 | 100% | |

| 実務経験者の授業科目 | ○ | 経験<br>内容 | 経験年数:3年　業務内容:レディースアパレルメーカー。婦人服アパレルメーカー、ニット・カットDIVにて企画デザイナー及び生産管理業務に従事。アパレル衣料の企画製作、商社。海外生産等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。 |
|---|---|---|---|

| 授業との関連性 | 縫製技術の基礎を基に、各アイテムの基本製図方法～応用展開を指導。<br>企業で求められる多種多様な衣料のデザインに対応した縫製技術能力を修得する。 |
|---|---|

| 授業目的 | 縫製技術の基本を身に付け、各種アイテムの基本的な仕様、工程、構造を製作することで学ぶ。 |
|---|---|
| | 製作を通して、布地の扱い方、ミシン、針との関係を学び、基礎技術を身に付ける。 |
| 到達目標 | 基本的な製図を理解し、工業用パターンを製作できるようになる。 |
| | 縫製を通して、服の構造、始末の違いなどの知識を習得し、技術を身に付ける |

## 授業概要

製作を通し、作業スケジュールを自分で管理出来るように指導。製作したものはシルエットチェックを行い、スタイリング提案、プレゼン能力を養う。また、製作物を染色するなど、他授業との連携を図る。
後期は商品としてのモノづくり、品質管理・生産管理を同時に行い、理解を深める。

| 時期 | コマ数 | 授業内容(授業展開) |
|---|---|---|
| 10月 | 18 | [ジャケット]<br>＊総裏仕立てのジャケット製作を通し、ジャケットの基本構造を知る<br>＊工業用パターンの作成、仕様工程、スケジュールに沿った作業が出来るようになる。<br>※各自デザイン(条件…ポケット付、テーラードカラー、2枚袖)<br><br>ファーストパターン作成、仮縫い合わせ、パターン修正<br>工業用パターン作成、裁断、芯貼り、縫製 |
| 11月 | 20 | 〔裏付きタイトスカート〕<br>＊裏付きタイトスカートの製作を通し、布目の重要性、立体的構造を理解する。<br>※ドレーピングでおこしたパターン使用<br>(ウエストインベル仕様、ベンツ)<br><br>ドレーピングパターン使用、パターン確認、修正<br>工業用パターン作成、裁断、芯貼り、縫製 |
| 12月 | 13 | |
| | | シャツブラウス製作 |
| 1月 | 15 | 衿の考え方・袖の考え方(傾斜の違いについて)を理解する。<br>工業用パターン、仕様書、工程分析表を理解し、仕事の効率を学ぶ。 |
| 2月 | 10 | |
| 3月 | 8 | 商品知識の習得、お直しについて<br>オリジナルアイテムの作成 |
| 留意事項 | | |
| 教材、資料等 | | 文化ファッション体系『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』<br>ヒロ・デザインジャケット冊子、プリントコピー |
| 評価方法<br>対象・比重 | | ・製作物75%・提出物(レポート)10%・取組姿勢15%<br>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。 |

| 学科名 | ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | ○ | 後期 | |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| パターンメーキングⅠ | | | | | | | | | 3単位 | | | |
| 担当教員 | 井手　真由 | | | | 科目区分 | 講義 | 100% | | 演習 | | 実習 | |
| 実務経験者の授業科目 | | | ○ | 経験<br>内容 | 経験年数:3年　業務内容:レディースアパレルメーカー。婦人服アパレルメーカー、ニット・カットDIVにて企画デザイナー及び生産管理業務に従事。アパレル衣料の企画製作、商社。海外生産等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。 | | | | | | | |
| 授業との関連性 | パターンメーキングの基礎を基に、各アイテムの基本製図方法～応用展開を指導。<br>企業で求められる多種多様な衣料のデザインに対応したパターン能力を修得する。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | ・基本的なパターン作成、展開の理論を理解する。 | | | | | | | | | | | |
| | ・各種アイテムの基本的な仕様、工程を学ぶ。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | ・基本的なパターン作成、展開の理論を理解し、自分でパターン作成ができるようになる。 | | | | | | | | | | | |
| | ・作成するデザイン、アイテムによって適した原型操作ができるようになる。 | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

製作を通し、作業スケジュールを自分で管理出来るように指導。製作したものはシルエットチェックを行い、スタイリング提案、プレゼン能力を養う。また、製作物を染色するなど、他授業との連携を図る。

| 時期 | コマ数 | 授業内容 |
|---|---|---|
| 4月 | 9 | 【パターンメーキングとは】パターンメーキングについて、記号、名称、ラインの引き方<br>【原型について】立体と平面について、ダーツとは、ダーツ移動と分散、胸ぐせダーツをデザイン線へ展開<br>【スカートについて】スカートとは、名称・ディテールについて<br>スカートの構造を学び、ウエスト寸法とヒップ寸法の差を処理する方法を身に付ける<br>タイトスカート、セミタイトスカート、フレアスカート、ギャザースカート |
| 5月 | 11 | 【ワンピースについて】ワンピースとは　名称・ディテールについて<br>製作ワンピースについて<br>縫製仕様・工程分析<br>【パンツについて】パンツとは<br>名称・ディテール<br>パンツの構造、パンツの基礎線を理解する<br>・ストレートパンツ、ワイドパンツ、ベルボトム、メンズパンツ<br>・パンツ仕様、工程について<br>・各自デザインのパターン |
| 6月 | 12 | 【ジャケットについて】ジャケットとは<br>名称・ディテール、ジャケットの構造を学び、理解する<br><br>・2面構成のジャケット<br>・4面構成のジャケット　パネルライン・プリンセスライン<br>・3面構成のジャケット　　マニピュレーション展開について<br>・衿の製図　テーラードカラー、ピークトラペル、ショールカラー<br>・2枚袖、1枚半袖<br>・表衿、見返しの展開、工業用パターン、裏パターン<br>・ジャケットの仕様・工程について<br>・各自デザインのジャケットパターン |
| 7月 | 7 | 裏地・副資材について<br>・タイトスカート、セミタイトスカート、フレアスカート、プリーツスカート<br>裏パターン、裏付きスカートの仕様・工程について |
| 9月 | 5 | 【シャツについて】シャツとは<br>普通袖とシャツ袖について袖の違いを理解する<br>機能・名称・ディテール |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | 授業後はノートまとめ、復習をし、理解を深めることとする |
| 教材、資料等 | 文化ファッション体系『ジャケット・ベスト』、『スカート・パンツ』<br>ヒロ・デザインジャケット冊子、その他資料 |
| 評価方法<br>対象・比重 | ・テスト70%・提出物(レポート含む)20%・取組姿勢10%<br>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。 |

| 学科名 | ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | | 後期 | ○ |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| パターンメーキングⅠ | | | | | | | | | 3単位 | | | |
| 担当教員 | 井手　真由 | | | | 科目区分 | 講義 | 100% | | 演習 | | 実習 | |
| 実務経験者の授業科目 | | | ○ | 経験<br>内容 | 経験年数:3年　業務内容:レディースアパレルメーカー。婦人服アパレルメーカー、ニット・カットDIVにて企画デザイナー及び生産管理業務に従事。アパレル衣料の企画製作、商社。海外生産等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。 | | | | | | | |
| 授業との関連性 | パターンメーキングの基礎を基に、各アイテムの基本製図方法～応用展開を指導。<br>企業で求められる多種多様な衣料のデザインに対応したパターン能力を修得する。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | ・基本的なパターン作成、展開の理論を理解し、自分でパターン作成ができるようになる。 | | | | | | | | | | | |
| | ・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作を理解し応用できるようになる。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | ・素材、デザイン、ターゲットに合った、パターン作成、展開ができるようになる。 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

製作を通し、作業スケジュールを自分で管理出来るように指導。製作したものはシルエットチェックを行い、スタイリング提案、プレゼン能力を養う。また、製作物を染色するなど、他授業との連携を図る。
後期は商品としてのモノづくり、品質管理・生産管理を同時に行い、理解を深める。

## 授業内容(授業展開)

| 時期 | コマ数 | 授業内容 |
|---|---|---|
| 10月 | 14 | 【シャツについて】衿の考え方、袖の考え方を理解する<br>袖の傾斜による機能性、シルエットの変化について理解すると共に、商品としてのモノづくり、生産・品質管理を学ぶ<br>・シャツブラウス、メンズシャツ<br>・衿について　シャツカラー、スタンドカラー、フラットカラー、台衿付きシャツカラー<br>・袖についてシャツの工業用パターン、仕様・工程について<br>・各自デザインのパターン |
| 11月 | 12 | 【応用パターン1】<br>・スカートのデザインバリエーションを広げ、応用力を身に付ける<br>・シャツトのデザインバリエーションを広げ、応用力を身に付ける<br>・パンツのデザインバリエーションを広げ、応用力を身に付ける |
| 12月 | 12 | 【グレーディング】<br>グレーディングとは<br>サイズ展開の方法について<br>身頃のグレーディング<br>袖のグレーディング<br>スカートのグレーディング |
| 1月 | 7 | 【お直しについて】<br>パターンの観点からみたお直しについての理解を深める。<br>素材別、アイテム別のお直し |
| 2月 | 9 | 【応用パターン】<br>・ジャケットのデザインバリエーションを広げ、応用力を身に付ける |
| 3月 | 6 | 【パターン・商品知識について】<br>PM検定2級の中身を理解し、知識として身に付ける |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | |
| 教材、資料等 | 文化ファッション体系『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』<br>その他資料 |
| 評価方法<br>対象・比重 | ・テスト70%・提出物(レポート含む)20%・取組姿勢10%<br>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | ○ | 後期 | |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| 服飾デザイン論Ⅰ | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 原賀　友子 | | | | 科目区分 | 講義 | 40% | 演習 | | 実習 | 60% | |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | ○ | 経験内容 | 経験年数;10年　広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年　パーソナルカラーを取り入れたパーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年　カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等のの講師実績。 | | | | | | | | |
| 授業との関連性 | 実務経験を通して培った、コーディネートの実用性と効果を交えつつ基礎知識を指導する。また、コーディネートやレイアウトの楽しさと可能性を伝え、学生独自の作品制作に反映出来るよう指導する。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | 服飾デザインの基礎知識と技法の原則を習得する。 | | | | | | | | | | | |
| | 審美眼を育てプランニングと分析力をつける。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | デザインワークやファッションコーディネートにおいて、プランを立て実際に活用することが出来る。 | | | | | | | | | | | |
| | デザインの効果を分析し、プレゼンテーションできる。 | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

教科書を使用しながら、随時日常での例や活用法などを交えて基本の知識の講義を行う。
その後各テーマごとに実習を行い、各自の理解度やスピードに合わせた学習方法を指導する。

| 時期 | コマ数 | 授業内容（授業展開） | |
|---|---|---|---|
| 4月 | 3 | ＜講義＞<br>概論　・形態、点、線、シルエット<br>●プロポーション　人体とアイテム画の基本<br>黄金比、ルート比 | ＜実習＞<br>＊ワンピース実物と使っての実習 |
| 5月 | 4 | ●シルエットの分類<br>●イリュージョン | ＊プリント実習<br>モード・エ・モードを使用 |
| 6月 | 4 | ●コンポジションA　ドミナント/セントラリティ<br>構成全体のまとめ方を学ぶ | |
| 7月 | 3 | ●コンポジションB　シンメトリー/アシンメトリー<br>構成バランスによる効果を学ぶ<br>＜期末テスト＞ | ＊色紙を使用してデザイン制作 |
| 9月 | 2 | ●コンポジションC　シミラリティ/コントラスト<br>構成における調和の取り方を学ぶ | ＊パソコンを使用してマップ制作 |
| | | | |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | モード・エ・モード（プレタポルテ）を各自購入 |
| 教材、資料等 | 文化ファッション大系服飾関連講座⑨　服飾デザイン<br>参考プリント、実習プリント（B4ファイル） |
| 評価方法<br>対象・比重 | ・評価テスト50%　・提出物40%　・取り組み姿勢10%<br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | | 後期 | ○ |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| 服飾デザイン論Ⅰ | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 原賀　友子 | | | | 科目区分 | 講義 | 40% | | 演習 | | 実習 | 60% |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | ○ | 経験内容 | 経験年数;10年　広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年　パーソナルカラーを取り入れたパーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年　カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等のの講師実績。 | | | | | | | | |
| 授業との関連性 | 実務経験を通して培った、コーディネートの実用性と効果を交えつつ基礎知識を指導する。また、コーディネートやレイアウトの楽しさと可能性を伝え、学生独自の作品制作に反映出来るよう指導する。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | 服飾デザインの基礎知識と技法の原則を習得する。 | | | | | | | | | | | |
| | 審美眼を育てプランニングと分析力をつける。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | デザインワークやファッションコーディネートにおいて、プランを立て実際に活用することが出来る。 | | | | | | | | | | | |
| | デザインの効果を分析し、プレゼンテーションできる。 | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

教科書を使用しながら、随時日常での例や活用法などを交えて基本の知識の講義を行う。
その後各テーマごとに実習を行い、各自の理解度やスピードに合わせた学習方法を指導する。

| 時期 | コマ数 | 授業内容（授業展開） | |
|---|---|---|---|
| | | ＜講義＞ | ＜実習＞ |
| 10月 | 4 | ●コンポジションC　シミラリティ/コントスト<br>構成における調和の取り方を学ぶ | ＊パソコンを使用してマップ制作 |
| 11月 | 5 | ●コンポジションD　規則/不規則/グラデーション<br>構成におけるリズム表現を学ぶ | |
| 12月 | 3 | ●マテリアル分類<br>テクスチャーが及ぼすデザイン効果と形態の関係を学ぶ | ＊プリント実習<br>実物の布地を参考にして<br>布地の分類マップを作成 |
| 1月 | 3 | ●近代デザインの歩み | |
| 2月 | 3 | ●コンポジション応用<br>基礎理論を活用してデザイン分析を行う | ＊パソコンを使用してマップ作成<br>ディテールの分析とコーディネートの考察とプレゼンテーションを行う |
| 3月 | 2 | ＜期末テスト＞<br>●服飾デザインについてまとめ | |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | モード・エ・モード（プレタポルテ）を各自購入 |
| 教材、資料等 | 文化ファッション大系服飾関連講座⑨　服飾デザイン<br>参考プリント、実習プリント（B4ファイル） |
| 評価方法<br>対象・比重 | ・評価テスト50%　・提出物40%　・取り組み姿勢10%<br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | ○ | 後期 | |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| カラー | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 原賀　友子 | | | | 科目区分 | 講義 | 70% | 演習 | | 実習 | 30% | |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | | ○ | 経験内容 | 経験年数;10年　広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年　パーソナルカラーを取り入れたパーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年　カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等のの講師実績。 | | | | | | | |
| 授業との関連性 | 実務経験を通して培った、コーディネートの実用性と効果を交えつつ基礎知識を指導する。また、コーディネートやレイアウトの楽しさと可能性を伝え、学生独自の作品制作に反映出来るよう指導する。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | カラーコーディネートの基礎知識と技法を習得する。 | | | | | | | | | | | |
| | 実践的に、色の見分けと選択、適切な技法のプランニングを習得する。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | デザインワークやファッションコーディネートにおいて、プランを立て実際に活用することができる。 | | | | | | | | | | | |
| | ファッションカラー検定3級合格可能なスキルを習得する。 | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

教科書を使用しながら、随時日常での例や活用法などを交えて基本の知識の講義を行う。
その後各テーマごとに実習を行い、各自の理解度やスピードに合わせた学習方法を指導する。

| 時期 | コマ数 | 授業内容（授業展開） | |
|---|---|---|---|
| | | ＜講義＞ | ＜実習＞ |
| 4月 | 2 | 概論　・色彩のはたらき | 道具の確認と配色カード作成 |
| | | ・色彩の体系　三属性<br>カラーサークル、トーン<br>ヒュー＆トーン | カラーサークル作成<br>トーン表作成 |
| 5月 | 3 | ・色彩理論　色の成り立ち、光と色<br>三原色、視覚と色<br>順応 | A4ファイル表紙制作 |
| 6月 | 4 | ・色彩心理　対比、同化<br>感情効果 | プリント実習 |
| | | ・配色技法　色相の配色<br>トーンの配色<br>色相とトーンの配色 | ↓ |
| 7月 | 4 | ＜期末テスト＞<br>・配色技法　無彩色・柄と無地の配色<br>・色彩構成　ベース、アソート<br>シンメトリー/アシンメトリー | |
| 9月 | 3 | | |
| | | | |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | モード・エ・モード（プレタポルテ）を各自購入 |
| 教材、資料等 | ファッション色彩〔Ⅰ〕<br>実習プリント（A4ファイル） |
| 評価方法<br>対象・比重 | ・評価テスト60%　・提出物30%　・取り組み姿勢10%<br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | | 後期 | ○ |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| カラー | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 原賀　友子 | | | | 科目区分 | 講義 | 80% | 演習 | | 実習 | 20% | |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | | ○ | 経験内容 | 経験年数;10年　広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年　パーソナルカラーを取り入れたパーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年　カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等のの講師実績。 | | | | | | | |
| 授業との関連性 | 実務経験を通して培った、コーディネートの実用性と効果を交えつつ基礎知識を指導する。また、コーディネートやレイアウトの楽しさと可能性を伝え、学生独自の作品制作に反映出来るよう指導する。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | カラーコーディネートの基礎知識と技法を習得する。 | | | | | | | | | | | |
| | 実践的に、色の見分けと選択、適切な技法のプランニングを習得する。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | デザインワークやファッションコーディネートにおいて、プランを立て実際に活用することができる。 | | | | | | | | | | | |
| | ファッションカラー検定3級合格可能なスキルを習得する。 | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

教科書を使用しながら、随時日常での例や活用法などを交えて基本の知識の講義を行う。
その後各テーマごとに実習を行い、各自の理解度やスピードに合わせた学習方法を指導する。

| 時期 | コマ数 | 授業内容（授業展開） | |
|---|---|---|---|
| | | ＜講義＞ | ＜実習＞ |
| 10月 | 4 | ・色彩構成　レピテーション/グラデーション<br>アクセント/セパレーション | プリント実習<br>↓ |
| 11月 | 5 | ・ファッション産業における色彩の役割<br>・企画段階の色彩<br>・生産段階の色彩 | |
| 12月 | 3 | ・流行配色 | プリント実習 |
| 1月 | 3 | ・パーソナルカラー<br>カラードレープを使っての実演と実習 | カラードレープを使用しての実習<br>色の選別とグルーピング<br>↓ |
| 2月 | 3 | ＜期末テスト＞<br>・カラーコーディネートまとめ | |
| 3月 | 2 | | |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | モード・エ・モード（プレタポルテ）を各自購入 |
| 教材、資料等 | ファッション色彩〔Ⅰ〕<br>実習プリント（A4ファイル） |
| 評価方法<br>対象・比重 | ・評価テスト60%　・提出物30%　・取り組み姿勢10%<br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科、ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | ○ | 後期 | |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| アパレル素材論 | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 伊澤　愛 | | | | 科目区分 | 講義 | 80% | | 演習 | | 実習 | 20% |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | | ○ | 経験内容 | 実務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパタンナーを経験。現在もフリーランスの外注パタンナーとしてパターンやオーダーの衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。 | | | | | | | |
| 授業との関連性 | アパレルメーカーのパタンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作のプロセスを指導。様々なメーカーでのアパレル素材と向き合った経験を活かし、講義にて基礎知識教授し、実習を通して素材の特性を体験させ理解を深める。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | アパレル製品や各自制作物の素材に関心を持たせることを目標とし、衣服の構成要素である繊維、糸、布地の種類や特徴についての基礎的知識を習得する。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | ・代表的な繊維や織物の種類に関しての基本的な知識を得る。 | | | | | | | | | | | |
| | ・繊維や糸の構造、織物組織などの特徴から布地の種類を判別できるようになる。 | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

実習を多く取り入れ、実践型の授業とし、素材への興味関心をもたせる。講義とともに実物の布地教材に触れながら、繊維、糸、布地についての基本的な素材への理解を深めてもらう。
【実習】服装調査、様々な布地とふれあう、三原組織の構成、糸製作、カーディング、棉栽培、燃焼実験、染色・注染（染料用植物採集、植物染料、化学染料）、捺染など

| 時期 | コマ数 | 授業内容（授業展開） |
|---|---|---|
| 4月 | 2 | ・アパレル素材の成り立ち　＊実習・染色（草木染）デモンストレーション<br>・布素材の種類や特徴をおおまかに認識する　＊実習・さまざまな布地に触れる組成 |
| 5月 | 4 | ・繊維・糸・布地（繊維について、糸の撚り、3原組織）　＊実習・綿花種まき<br>・繊維の種類と分類、成分と構造、性質・染色の基本　＊実習 ・アパレル素材の認識(服装調査)<br>・天然繊維の種類と特性・・植物繊維(綿 麻）代表的な布地 |
| 6月 | 4 | ・・動物繊維（毛絹）代表的な布地・・皮革・毛皮・羽毛　＊実習・染色（草木染）<br>＊実習・染色（化学染料）デモンストレーション<br>・化学繊維の種類と特性、原料と構造・・再生繊維（レーヨン　＊実習・染色（化学染料）製品染め<br>・・半合成繊維（アセテート トリアセテート プロミックス）・・三大合成繊維（ナイロン ポリエステル アクリル） |
| 7月 | 3 | ・その他の合成繊維・新合成繊維<br>＊実習・生地サンプル帳作成 |
| 8月 | | 夏季休暇　ファッション販売検定課題 |
| 9月 | 3 | 期末テスト<br>・糸について（天然繊維・合成繊維の違い、混繊・混紡、混織）加工・新素材<br>＊実習・糸の構造と太さ |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | |
| 教材、資料等 | 文化ファッション体系　アパレル素材論、アパレル染色論、ファッション販売検定3級、その他資料コピー |
| 評価方法<br>対象・比重 | ・テスト70%・提出物（レポート含む）20%・取組姿勢10%<br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科、ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | | 後期 | ○ |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| アパレル素材論 | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 伊澤　愛 | | | | 科目区分 | 講義 | 80% | | 演習 | | 実習 | 20% |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | | ○ | 経験内容 | 実務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパタンナーを経験。現在もフリーランスの外注パタンナーとしてパターンやオーダーの衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。 | | | | | | | |
| 授業との関連性 | アパレルメーカーのパタンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作のプロセスを指導。様々なメーカーでのアパレル素材と向き合った経験を活かし、講義にて基礎知識教授し、実習を通して素材の特性を体験させ理解を深める。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | アパレル製品や各自制作物の素材に関心を持たせることを目標とし、衣服の構成要素である繊維、糸、布地の種類や特徴についての基礎的知識を習得する。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | ・代表的な繊維や織物の種類に関しての基本的な知識を得る。 | | | | | | | | | | | |
| | ・繊維や糸の構造、織物組織などの特徴から布地の種類を判別できるようになる。 | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

実習を多く取り入れ、実践型の授業とし、素材への興味関心をもたせる。講義とともに実物の布地教材に触れながら、繊維、糸、布地についての基本的な素材への理解を深めてもらう。
【実習】服装調査、様々な布地とふれあう、三原組織の構成、糸製作、カーディング、棉栽培、燃焼実験、染色・注染（染料用植物採集、植物染料、化学染料）、捺染など

| 時期 | コマ数 | 授業内容（授業展開） | |
|---|---|---|---|
| 10月 | 3 | 織物について<br>（織物の三原組織・一重組織・重ね組織<br>・パイル組織・特殊組織など）<br>編み物について | ＊実習・カーディング　・撚糸 |
| 11月 | 4 | （ニットの組織について、また織物との構造<br>・特性の違い）<br>繊維製品に関する品質表示、取り扱い表示、<br>衣料サイズについてさまざまな加工・新素材について | ＊実習・捺染(型染め) |
| 12月 | 4 | 副資材について<br>（裏地・芯地・ボタン・ファスナー・縫い糸）<br>さまざまな加工・新素材について | ＊実習・燃焼実験 |
| 1月 | 2 | レースについて<br>天然皮革（革の種類、構造、特質、なめしなど） | ＊実習・ウィービング |
| 2月 | 3 | 合成皮革・人工皮革<br>毛皮・人工毛皮・羽毛・合成材脂<br>生地サンプルを使用した素材の判別 | ＊実習・素材の判別 |
| 3月 | 3 | 期末テスト<br>【布サンプル帳作り】<br>まとめ・発表 | |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | |
| 教材、資料等 | 文化ファッション体系　アパレル素材論、アパレル染色論、ファッション販売検定3級、その他資料コピー |
| 評価方法<br>対象・比重 | ・テスト70%・提出物（レポート含む）20%・取組姿勢10%<br><br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | ○ | 後期 | |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| 西洋服装史 | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 原賀　友子 | | | | 科目区分 | 講義 | 100% | | 演習 | | 実習 | |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | ○ | 経験内容 | 経験年数;10年　広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年　パーソナルカラーを取り入れたパーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年　カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等のの講師実績。 | | | | | | | | |
| 授業との関連性 | 実務経験を通して培ったデザイン分析やトレンド分析手法を取り入れ、服装史との関連性を実践的な発想イメージに繋ぐ。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | 服装の歴史を振り返ることで、社会背景や技術開発などと、服装の関係性や、流行の発生について学ぶ。<br>また、過去のデザインや制作の過程を知ることで、デザイン発想に取り入れたり、商品知識を深めて販売につなげる。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | 時代性と社会背景を考慮した上で、服飾価値を理解し、トレンド分析や商品企画、販売に応用できる。 | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

参考資料をもとに、時代背景や各時代の特徴的な服装とその時代のファッション産業について講義する。
出来るだけ具体的な事象や服装などの画像資料を見せながら、風俗や音楽やダンスなどのエンタメも交えて紹介することで、難しい座学というよりも、時代の空気とファッションを楽しみながら身近なものに感じられるような講義にする。

| 時期 | コマ数 | 授業内容（授業展開） |
|---|---|---|
| 4月 | 2 | ・概論<br>・服飾の起源<br>・衣服の基本形<br><br>・古代　オリエント（メソポタミア、シュメール、バビロニア、アッシリア、アケメネス朝ペルシア）<br>エジプト（古代王国時代、中王国時代、新王国時代）<br>ギリシア・エーゲ海文明（クレタ文明、ミケーネ文明、ギリシア文明）<br>ローマ |
| 5月 | 3 | ・中世　5～10世紀　ビザンティン帝国、ヨーロッパゲルマン民族<br>11～12世紀　＜ロマネスク＞<br>13～15世紀　＜ゴシック＞ |
| 6月 | 4 | 15世紀　イタリア＜イタリアルネサンス＞<br>16世紀　スペイン、フランス、イギリス＜ルネサンス＞<br>17世紀　オランダスタイル・ルイ14世時代＜バロック＞<br>18世紀　ルイ15世時代・ルイ16世時代＜ロココ＞ |
| 7月 | 4 | ・近世　19世紀　フランス革命～第一帝政時代＜エンパイアスタイル＞<br>フランス王政復古～七月王政時代＜ロマンティックスタイル＞<br>フランス第二帝政時代＜クリノリンスタイル＞<br>フランス第三共和政時代＜バッスルスタイル＞ |
| 9月 | 3 | ＜期末テスト＞<br>・服装史まとめ<br>・民族服と平民の服装について |
| | | |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | キトンやトガを実物の布を使って着装体験をしたり、実物のアイテムを見せたりと体験を織り込む。<br>重要な箇所にはプリントへの書き込みを指示したり、ポイントアドバイスをして学習のサポートをする。 |
| 教材、資料等 | ・プリント資料（A4ファイル） |
| 評価方法<br>対象・比重 | 評価テスト90%　　取り組み姿勢10%<br><br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | | 後期 | ○ |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| 近代服装史 | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 原賀　友子 | | | | 科目区分 | 講義 | 100% | | 演習 | | 実習 | |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | | ○ | 経験内容 | 経験年数;10年　広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年　パーソナルカラーを取り入れたパーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年　カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等のの講師実績。 | | | | | | | |
| 授業との関連性 | | | 実務経験を通して培ったデザイン分析やトレンド分析手法を取り入れ、服装史との関連性を実践的な発想イメージに繋ぐ。 | | | | | | | | | |
| 授業目的 | 服装の歴史を振り返ることで、社会背景や技術開発などと、服装の関係性や、流行の発生について学ぶ。<br>また、過去のデザインや制作の過程を知ることで、デザイン発想に取り入れたり、商品知識を深めて販売につなげる。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | 時代性と社会背景を考慮した上で、服飾価値を理解し、トレンド分析や商品企画、販売に応用できる。 | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

参考資料をもとに、時代背景や各時代の特徴的な服装とその時代のファッション産業について講義する。
出来るだけ具体的な事象や服装などの画像資料を見せながら、風俗や音楽などのエンタメも交えて紹介することで、難しい座学というよりも、時代の空気とファッションを楽しみながら身近なものに感じられるような講義にする。

| 時期 | コマ数 | 授業内容（授業展開） |
|---|---|---|
| 10月 | 4 | 20世紀　ベルエポック　アールヌーボー様式＜S字スタイル＞<br>’20　第一次世界大戦　ギャルソンヌ、アールデコ様式<br>’30　第二次世界大戦　バイアスカットとスリム＆ロング、スキャパレリ |
| 11月 | 4 | ’40　戦後復興と大量消費時代　ニュールックとディオールのラインシリーズ<br>’50　アメリカンスタイル、日本の戦後復興と洋装化 |
| 12月 | 3 | ’60　若者主導の時代　オートクチュールの衰退とプレタポルテ時代の到来<br>’70　ファッションの多様化　既存の体制崩壊と価値観の変化<br>’80　ファッションの原点返り　バブル経済、そしてベルリンの壁の崩壊へ |
| 1月 | 3 | ’90　情報化社会のストリートファッション　複数の価値観<br>21世紀　ミックスファッションの時代　ファッションのグローバル化<br>’10　世代を超えたサブカルチャー　カルチャーの融合と情報化社会 |
| 2月 | 4 | ＊近代服装史まとめ<br>＜期末テスト＞ |
| 3月 | 2 | ＊服装史まとめ<br>現代のファッションとクラスター　ディスカッションとレポート発表 |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | キトンやトガを実物の布を使って着装体験をしたり、実物のアイテムを見せたりと体験を織り込む。<br>重要な箇所にはプリントへの書き込みを指示したり、ポイントアドバイスをして学習のサポートをする。 |
| 教材、資料等 | ・プリント資料（A4ファイル） |
| 評価方法<br>対象・比重 | 評価テスト90%　取り組み姿勢10%<br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | ○ | 後期 | |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| ファッションビジネス論 | | | | | | | | | 2単位 | | | |
| 担当教員 | 馬場裕二 | | | | 科目区分 | 講義 | 70% | 演習 | | 実習 | 30% | |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | | ○ | 経験内容 | 経験年数:5年　業務内容:アパレル販売代行サービス会社にて商品企画・管理、店舗管理に従事。その後新規事業部にて店舗の企画、開業、運営に従事。<br>経歴:　自社ブランドの商品企画、商品管理、店舗及びスタッフの管理業務から店舗の企画～開業、運営(仕入/接客/補正/リメイク)等の店舗経営全般に従事。 | | | | | | | |
| 授業との関連性 | | | | | 商品の企画～仕入(古着含む)～販売～補正(リメイク)まで、店舗の企画～開業～運営までの経験を踏まえ、アパレルの基本構造と現場から得た消費者ニーズ等を、講義と実習を通して教授する。 | | | | | | | |
| 授業目的 | 服飾におけるファッションビジネスの基礎を学び、時代の変化を捉える | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | ビジネスからの視点を身に付け、ファッションにおける志向の幅を広げる<br>感性を磨き、自身の魅力を引き出す | | | | | | | | | | | |

授業内容(授業展開)

| 時期 | コマ数 | 授業内容 |
|---|---|---|
| 4月 | 7 | 【ファッションビジネス】<br>・ファッション<br>・ファッションビジネス❶<br>・ファッションビジネス❷<br>・ファッションビジネス❸<br>※CtoCについて等補足が必要<br>※FBに求められる資質は即戦力を |
| 5月 | 8 | ・消費者❶<br>・消費者❷<br>・消費者❸<br>・消費者❹<br>・店舗で接客を受ける<br>・ECサイトの閲覧<br>→意識を持って上記を体験し、消費者のニーズや |
| 6月 | 8 | 【ファッションビジネスの変遷】<br>・1950年、1960年<br>・1970年、1980年<br>・1990年、2000年<br>・2010年、2020年予測<br>※2020年代の補足が必要<br>・年代ごとのファッション、カルチャーをわかりやすく解説 |
| 7月 | 6 | 【産業構造・流通・生産・職種】<br>・ファッション産業の構造❶<br>・ファッション産業の構造❷<br>・ファッション産業の構造❸<br>※二次流通市場について補足(SDGS、古着等) |
| 8月 | | 夏休み(課題:名称復習、過去問) |
| 9月 | 5 | ・流通の基礎知識<br>・アパレル生産、貿易<br>・職種 |
| 留意事項 | | |
| 教材、資料等 | | 教科書(ファッションビジネス、販売技術①) |
| 評価方法<br>対象・比重 | | 試験70%・取組姿勢30%<br>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。 |

| 学科名 | ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | | 後期 | ○ |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| ファッションビジネス論 | | | | | | | | | 2単位 | | | |
| 担当教員 | 馬場裕二 | | | | | 科目区分 | 講義 | 70% | 演習 | | 実習 | 30% |
| 実務経験のある教員等による<br>授業科目 | | | ○ | 経験<br>内容 | 経験年数:5年　業務内容:アパレル販売代行サービス会社にて商品企画・管理、店舗管理に従事。その後新規事業部にて店舗の企画、開業、運営に従事。<br>経歴:　自社ブランドの商品企画、商品管理、店舗及びスタッフの管理等に携わった。その後店舗の企画～開業、運営(仕入/接客/補正/リメイク)等の店舗経営全般に携わった | | | | | | |
| 授業との関連性 | | | 商品の企画～仕入(古着含む)～販売～補正(リメイク)まで、店舗の企画～開業～運営までの経験を踏まえ、アパレルの基本構造と現場から得た消費者ニーズ等を、講義と実習を通して教授する。 | | | | | | | | | |
| 授業目的 | 服飾におけるファッションビジネスの基礎を学び、時代の変化を捉える | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | ビジネスからの視点を身に付け、ファッションにおける志向の幅を広げる | | | | | | | | | | | |
| | 感性を磨き、自身の魅力を引き出す | | | | | | | | | | | |

授業内容(授業展開)

| 時期 | コマ数 | 授業内容 |
|---|---|---|
| 10月 | 8 | 【経営と情報活用】・経営　・情報活用<br>【ファッションマーケティングとマーチャンダイジング】<br>・ファッションマーケティング<br>・ファッションリサーチ<br>※二次流通市場について補足<br>・自身のファンを獲得する手段として、スタイリングや注目アイテム、カルチャーを発信するIG自己アカウントの開設、発信 |
| 11月 | 7 | ・売り場作り(販売技術①P152～)<br>・係数管理<br>・スタッフの業務(販売技術①P198～) |
| 12月 | 7 | ・企業のルール　・ファッション販売　・検定対策<br>【施設分析】 目的説明、施設担当決め、分析方法立案<br>・データ収集 |
| 1月 | 6 | ・リサーチ<br>資料作成 |
| 2月 | 7 | |
| 3月 | 4 | 模擬プレゼン<br>再修正 |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | |
| 教材、資料等 | 教科書(ファッションビジネス、販売技術①) |
| 評価方法<br>対象・比重 | 試験70%・取組姿勢30%<br>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。 |

| 学科名 | ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | ○ | 後期 | |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| 販売技術 | | | | | | | | | 2単位 | | | |
| 担当教員 | 新原　麻乃 | | | | 科目区分 | 講義 | 50% | 演習 | 50% | 実習 | | |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | | ○ | 経験内容 | 経験年数：13年<br>業務内容：大手アパレル会社にて販売職に従事<br>経歴：大手アパレル会社主催ロールプレイングコンテスト優勝<br>優秀な販売職への称号「プロフェッショナルFA」授与<br>入社2～3年目の研修担当　等。 | | | | | | | |
| 授業との関連性 | 13年間、販売の最前線に立ち学んだことを活かし、お客様視点での接客対応スキル、及び、販売員としての立ち振る舞いを講義、実習を通して習得できるよう指導する。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | ファッションにおける専門知識と専門技術の基礎を学び、お客様視点と販売員視点からファッションを捉えるお客様の行動・心理、販売員の役割を理解する。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | ・お客様にとって販売員とはどんな役割であるかの理解が出来ている<br>・企業にとって販売員とはどんな役割であるかの理解が出来ている<br>・販売員としての基本的マナーと、ファッションに関する名称知識が身についている状態 | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

ファッションへの理解を深める・「好きなこと」から「見知らぬ誰かを喜ばせる仕事」への意識変換

| 時期 | コマ数 | 授業内容（授業展開） | |
|---|---|---|---|
| 4月 | 4 | 【販売知識】・ファッションとは　・ファッション販売について | ［ アイテムセールストーク強化課題］<br>・私物のセールストーク表作成(9着～)…レポート提出<br>→　発表 |
| | | ・ファッション小売業の業種、業態　・お客様にとってお店とは | |
| | | ・お客様について　・ライフスタイルショップの販売知識 | |
| 5月 | 6 | 【販売技術】・販売スタッフの基本マナー❶ | |
| | | ・販売スタッフの基本マナー❷ | 「自分コーディネートで自己アピール」<br>・全身トータルコーディネート(自分)<br>お題(テーマ)に対してコーディネート作成とその説明<br>…3コーディネート以上レポート提出<br>→　発表 |
| | | ・購買心理の理解　・買い物の仕方　・接客の基本とコンサルティングセールス | |
| | | ・包装　・贈答のマナー | |
| | | 【商品知識】・アイテムの知識❶ | |
| 6月 | 8 | ・アイテムの知識❷ | 「他者コーディネート」<br>お題(テーマ)に対して適切なコーディネートを選択(ネットor雑誌等)し説明と理由をまとめる　・・・　レポート提出(7コーディネート)<br>→　発表 |
| | | ・アイテムの知識❸ | |
| | | ・ベビー、子供服の知識 | |
| | | ・インナーウエアの知識 | |
| 7月 | 8 | ・服飾雑貨 | |
| | | ・衣服の構成とディテール | |
| | | ・衣服の構成とディテール | |
| | | ・衣服の構成とディテール | |
| 8月 | | 夏休み(　課題：　名称復習、過去問) | |
| 9月 | 6 | 売り場作り | ・年齢別(全員共通)コーディネート<br>お題(テーマ)に対して、尚且つその年齢に適切なコーディネートを選択し説明と理由をまとめる…レポート提出(4コーディネート)　→　発表 |
| | | マーケティング | |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | スケジュール管理をしっかり行い、提出物の期限厳守と前もった授業準備で忘れ物をしないこと |
| 教材、資料等 | ・ファッション販売3 |
| 評価方法<br>対象・比重 | 評価テスト60%、提出物30%、取り組み姿勢10%<br><br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | | 後期 | ○ |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| 販売技術 | | | | | | | | | 2単位 | | | |
| 担当教員 | 新原　麻乃 | | | | 科目区分 | 講義 | 50% | 演習 | 50% | 実習 | | |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | | ○ | 経験内容 | 経験年数：13年<br>業務内容：大手アパレル会社にて販売職に従事<br>経歴：大手アパレル会社主催ロールプレイングコンテスト優勝<br>優秀な販売職への称号「プロフェッショナルFA」授与<br>入社2～3年目の研修担当　等。 | | | | | | | |
| 授業との関連性 | 13年間、販売の最前線に立ち学んだことを活かし、お客様視点での接客対応スキル、及び、販売員としての立ち振る舞いを講義、実習を通して習得できるよう指導する。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | ファッションにおける専門知識と専門技術の基礎を学び、お客様視点と販売員視点からファッションを捉える<br>お客様の行動・心理、販売員の役割を理解する。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | ・販売業務への理解が出来ている<br>・ゼロアプローチ～お見送りまでの流れをつかみ、接客イメージが湧いている状態<br>・店頭での仕事内容と動きを理解している状態 | | | | | | | | | | | |

授業概要

ファッションへの理解を深める・「好きなこと」から「見知らぬ誰かを喜ばせる仕事」への意識変換

| 時期 | コマ数 | 授業内容（授業展開） |
|---|---|---|
| 10月 | 8 | 販売スタッフの業務 |
| | | 前期演習発表と共有 |
| | | ①(1)FAの役割(2)第一印象(3)グランドルール(4)目指すFA像(5)基本動作(6)8大用語 |
| | | ②(1)基本動作(2)8大用語(3)ゼロアプローチ(4)ファーストアプローチ |
| 11月 | 8 | ③(1)潜在ニーズと顕在ニーズ(2)ニーズとウォンツ |
| | | ④セールストーク |
| | | ⑤イメージングセールス、提案 |
| | | ⑥フィティング |
| 12月 | 8 | ⑦クロージング |
| | | ⑧クロージング～お見送り |
| | | ⑨通しロープレ |
| 1月 | 6 | ⑩通しロープレ(リハ) |
| | | 実技試験 |
| | | 実技試験FB |
| | | 再来店に繋がるアプローチ |
| 2月 | 6 | ロールプレイング応用(お直し、小物や雑貨の接客、　等)<br>動的待機とファーストアプローチシミュレーション<br>インターンシップ対策 |
| 3月 | 4 | ↓ |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | スケジュール管理をしっかり行い、提出物の期限厳守と前もった授業準備で忘れ物をしないこと |
| 教材、資料等 | ・ファッション販売3 |
| 評価方法<br>対象・比重 | 評価テスト60％、ロープレ(授業姿勢と実技試験)30％、取り組み姿勢10％<br><br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | ○ | 後期 | |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| ファッションコーディネート | | | | | | | | | 2単位 | | | |
| 担当教員 | 原賀　友子 | | | | 科目区分 | 講義 | 40% | 演習 | | 実習 | 60% | |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | ○ | 経験内容 | 経験年数;10年　広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年　パーソナルカラーを取り入れたパーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年　カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等のの講師実績。 | | | | | | | | |
| 授業との関連性 | 実務経験を通して培った、コーディネートの実用性と効果を交えつつ基礎知識を指導する。また、コーディネートやレイアウトの楽しさと可能性を伝え、学生独自の作品制作に反映出来るよう指導する。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | ファッションコーディネートの基礎知識と分類、分析の手法を学ぶことで、リサーチや商品企画、接客力に反映させる。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | マーケティング上の分類方法を理解し、調査分析ができる。<br>相手の要望を理解し、コーディネートのポイントを相手に合わせてプレゼンテーションできる。 | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

参考資料を使用しながら、随時日常での例や活用法などを交えて基本の知識の講義を行う。
その後各テーマごとに実習を行い、各自の理解度やスピードに合わせた学習方法を指導する。

| 時期 | コマ数 | 授業内容（授業展開） |
|---|---|---|
| 4月 | 3 | ＜講義＞<br>●概論　●ファッションコーディネートとは<br>●コーディネート分類　●ファッション感性<br>＜実習＞<br>＊パソコンを使用してマップ制作<br>ファッションイメージマップ<br>（ワンピース制作のための<br>イメージを決める |
| 5月 | 4 | ●トレンド分析　A/Wコレクショントレンドの分類と分析<br>繊研新聞を参考に最新トレンドを学ぶ<br>注目トレンドのリサーチとプレゼンテーション<br>＊プリント実習<br>トレンドテーマを理解し分類する<br>注目トレンドのレポート制作 |
| 6月 | 4 | ●オケージョン分類<br>条件を設定し、コーディネートを選択する<br>＊パソコンを使用しマップ制作<br>●テイスト分類<br>条件を設定し、コーディネートをする<br>＊夏休み宿題<br>各自コーディネートを撮影し、マップ作成 |
| 7月 | 3 | ＜期末テスト＞<br>●スタイル分類<br>各スタイルの特徴をつかみ、コーディネートを選択する<br>（ヨーロピアン、ブリティッシュ、イタリアン、アメリカンなど）<br>＊秋休み注に写真素材を集める |
| 9月 | 2 | |
| | | |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | モード・エ・モード（プレタポルテ）を各自購入　・課題研究で各自実習を進める |
| 教材、資料等 | ・参考プリント、実習プリント（A4ファイル）<br>・ファッション販売3　・ファッションビジネス〔Ⅰ〕改訂版 |
| 評価方法<br>対象・比重 | ・評価テスト50%　・提出物40%　・取り組み姿勢10%<br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | | 後期 | ○ |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| ファッションコーディネート | | | | | | | | | 2単位 | | | |
| 担当教員 | 原賀　友子 | | | | 科目区分 | 講義 | 40% | 演習 | | 実習 | 60% | |
| 実務経験のある教員等による授業科目 | | | ○ | 経験内容 | 経験年数;10年　広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年　パーソナルカラーを取り入れたパーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年　カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等のの講師実績。 | | | | | | | |
| 授業との関連性 | 実務経験を通して培った、コーディネートの実用性と効果を交えつつ基礎知識を指導する。また、コーディネートやレイアウトの楽しさと可能性を伝え、学生独自の作品制作に反映出来るよう指導する。 | | | | | | | | | | | |
| 授業目的 | ファッションコーディネートの基礎知識と分類、分析の手法を学ぶことで、リサーチや商品企画、接客力に反映させる。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | マーケティング上の分類方法を理解し、調査分析ができる。<br>相手の要望を理解し、コーディネートのポイントを相手に合わせてプレゼンテーションできる。 | | | | | | | | | | | |

## 授業概要

参考資料を使用しながら、随時日常での例や活用法などを交えて基本の知識の講義を行う。
その後各テーマごとに実習を行い、各自の理解度やスピードに合わせた学習方法を指導する。

| 時期 | コマ数 | 授業内容（授業展開） |
|---|---|---|
| 10月 | 4 | ＜講義＞　＜実習＞<br>●スタイル分類　＊パソコンを使用しレポート制作<br>各スタイルの特徴をつかみ、コーディネートを選択する<br>（ヨーロピアン、ブリティッシュ、イタリアン、アメリカンなど） |
| 11月 | 5 | ●シルエット分析　コレクション誌、ファッション誌、ショップのリサーチと分析方法<br>●トレンド分析　S/Sコレクショントレンドの分類と分析　＊プリント実習<br>繊研新聞を参考に最新トレンドを学ぶ　トレンドテーマを理解し分類する<br>注目トレンドのリサーチとプレゼンテーション　＊注目トレンドのレポート制作 |
| 12月 | 3 | ●イメージ分析応用<br>デザインの傾向と消費者心理との関係について<br>●ブランド調査　＊ブランドの基本情報をリサーチし、<br>ブランドとは　競合店との比較分析を行いレポート作成 |
| 1月 | 3 | ＜期末テスト＞<br>プレゼンテーション |
| 2月 | 3 | まとめ |
| 3月 | 2 | |
| 留意事項 | | モード・エ・モード（プレタポルテ）を各自購入　・課題研究で各自実習を進める |
| 教材、資料等 | | ・参考プリント、実習プリント（A4ファイル）<br>・ファッション販売3　・ファッションビジネス〔Ⅰ〕改訂版 |
| 評価方法<br>対象・比重 | | ・評価テスト50％　・提出物40％　・取り組み姿勢10％<br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科3年、ファッションビジネス1年 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1、3 | 年 | 学期 | 前期 | | 後期 | ○ |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| 一般教養 | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 徳永隆裕 | | | | | 科目区分 | 講義 | 70% | 演習 | 30% | 実習 | |
| 授業目的 | 社会人として要求される一般常識及びヒューマンスキルを身につけ、併せて就職試験で求められる<br>一般教養試験へ対応できるようにする。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | 就職試験で課される一般教養試験（国、数、英、社、時事等）で60％以上の得点が取得できるレベルと、<br>SPI　試験の内容の理解。 | | | | | | | | | | | |

授業内容（授業展開）

| 時期 | コマ数 | 授業内容 |
|---|---|---|
| 10月 | 4 | ・科目ガイダンス<br>・就活の心得<br>　年間スケジュール、就活サイトの活用等<br>・自己分析 |
| 11月 | 2 | ・企業研究<br>　会社形態、会社組織、企業理念、経営指標等<br>・業界研究 |
| 11月<br>12月 | 5 | ・SPI対策<br>　問題解説、筆記テスト対策 |
| 1月 | 2 | ・履歴書対策<br>・面接対策<br>　演習　等 |
| 2月 | 3 | ・グループディスカッション<br>・業界研究 |
| 3月 | 3 | ・面接、GD個別指導　等<br>・期末テスト |
| 留意事項 | | |
| 教材、資料等 | | テキスト、新聞・ネット等からの業界及び企業情報 |
| 評価方法<br>対象・比重 | | テスト70％、提出物等30％<br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | ○ | 後期 | |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| 特別講義 | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 特別講義関連講師 | | | | 科目区分 | 講義 | 90% | | 演習 | | 実習 | 10% |
| 授業目的 | ・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける<br>・美的感覚、感性を養う為に美術館等で様々な物を鑑賞する<br>・様々なライフスタイルの方々を講師に招き、企画やプランニングを行なう為に必要な知識を学ぶ | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | アパレルだけでなく社会人としての知識の幅を広げ、身に付けた知識、教養を各自のデザイン創造、企画等に活かすことができるようになる。<br>様々なアートを見て、触れて本物を見る目を養い感性を伸ばす。 | | | | | | | | | | | |

| 授業概要 |
|---|
| 教材を基に座学で習得する知識だけでなく、アパレル分野に限らず様々な知識を特別講義関連講師より学ぶ。「知る」を増やし、様々なアートに触れ、感性を養う。 |

| 授業内容（授業展開） | | |
|---|---|---|
| 時期 | コマ数 | 授業内容 |
| 4月 | 1 | セルフマネジメント講習① |
| | 1 | 校外研修事前説明会 |
| | 1 | 校外研修 |
| 5月 | 1 | 学生実行委員会に関する説明会・オリエンテーション |
| | 1 | セルフマネジメント講習② |
| | 1 | DVD鑑賞 「ファッション関連」 |
| | 1 | 大掃除 |
| 6月 | 1 | 特別講義 （業界にて活躍中の卒業生によるセミナー、特別講師　デザイナーによる授業等） |
| | 1 | セルフマネジメント講習③ |
| | 1 | 大掃除 |
| | 1 | 毛皮セミナー |
| 7月 | 1 | サマーファッションコンテスト事前審査会 |
| | 1 | セルフマネジメント講習④ |
| | 1 | サマーファッションコンテスト事前準備・リハーサル |
| 9月 | 1 | セルフマネジメント講習⑤ |
| | 1 | 一般常識（電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して　等） |
| | 1 | 大掃除 |
| 留意事項 | | 一般常識についてのセミナーは特別支援相談・不動産・キャリアプラン・年金・保険・アクティブラーニング・精神、心の病・論理的思考について・就職関係・薬物乱用防止・繊研新聞社セミナー等、その都度学生に必要とする講義を実施。 |
| 教材、資料等 | | |
| 評価方法<br>対象・比重 | | レポート・提出物等80％、取組姿勢・出欠20％<br><br>*試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1 | 年 | 学期 | 前期 | | 後期 | ○ |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| 特別講義 | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 特別講義関連講師 | | | | 科目区分 | 講義 | 90% | | 演習 | | 実習 | 10% |
| 授業目的 | ・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける<br>・美的感覚、感性を養う為に美術館等で様々な物を鑑賞する<br>・様々なライフスタイルの方々を講師に招き、企画やプランニングを行なう為に必要な知識を学ぶ | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | アパレルだけでなく社会人としての知識の幅を広げ、身に付けた知識、教養を各自のデザイン創造、企画等に活かすことが出来るようになる。<br>様々なアートを見て、触れて本物を見る目を養う。 | | | | | | | | | | | |

| 授業概要 |
|---|
| 教材を基に座学で習得する知識だけでなく、アパレル分野に限らず様々な知識を特別講義関連講師より学ぶ。「知る」を増やし、様々なアートに触れ、感性を養う。 |

| 授業内容(授業展開) | | |
|---|---|---|
| 時期 | コマ数 | 授業内容 |
| 10月 | 1 | 中・高校性ファッション画コンテスト　表彰式事前準備及びリハーサル |
| | 1 | 特別講義　(業界にて活躍中の卒業生によるセミナー、特別講師　デザイナーによる授業等) |
| | 1 | 大掃除 |
| 11月 | 1 | 美術鑑賞(美術館等の展覧会鑑賞、観覧前セミナー) |
| | 1 | DVD鑑賞　「ファッション関連」 |
| | 1 | 一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して　等) |
| | 1 | 大掃除 |
| 12月 | 1 | 国内・海外研修に関して事前説明会 |
| | 1 | DVD鑑賞　「ファッション関連」 |
| | 1 | 大掃除 |
| 1月 | 1 | 美術鑑賞(美術館等の展覧会鑑賞、観覧前セミナー) |
| | 1 | 一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して　等) |
| | 1 | 大掃除 |
| 2月 | 1 | 就職関係　(企業セミナー、Jobカードセミナー等) |
| | 1 | DVD鑑賞　「ファッション関連」 |
| | 1 | 大掃除 |
| 3月 | 1 | 学生実行委員会に関して　次年度に向けた移行準備 |
| | 1 | 一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して　等) |
| 留意事項 | | 一般常識についてのセミナーは特別支援相談・不動産・キャリアプラン・年金・保険・アクティブラーニング・精神、心の病・論理的思考について・就職関係・薬物乱用防止・繊研新聞社セミナー等、その都度学生に必要とする講義を実施。 |
| 教材、資料等 | | |
| 評価方法<br>対象・比重 | | レポート・提出物等80%、取組姿勢・出欠20%<br><br>*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1・2・3・4 | 年 | 学期 | 前期 | ○ | 後期 | |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| イベント・学校行事 | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 関連講師 | | | | | 科目区分 | 講義 | 5% | 演習 | | 実習 | 95% |
| 授業目的 | ・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける<br>・イベントや行事実施にあたって必要とされる企画・準備・実施を通し、社会性・協調性を身に付ける。<br>・学校行事の運営を通して職業人としての責任と自信を涵養。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | ・担当、役割に応じた運営を行い、学科・学年を超えてコミュニケーションを取り合い、イベント・行事を成功へと導く。 | | | | | | | | | | | |

| 授業概要 |
|---|
| 習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。<br>各行事・イベント毎に担当・指導する講師のもと、各自が自分で考え報・連・相を取りながら実習を行う。 |

| 授業内容（授業展開） | |
|---|---|
| 時期 | 授業内容 |
| 4月 | 校外研修事前説明会及び学科・学年を超えたコミュニケーション |
| | 校外研修 |
| | 校外研修 |
| 5月 | 学生実行委員会に関する説明会・オリエンテーション |
| | 各学生実行委員毎に年間スケジュール計画 |
| | 各学生実行委員毎に年間スケジュール計画・役割決め |
| | サマーファッションコンテスト実施に向けた活動① |
| 6月 | サマーファッションコンテスト実施に向けた活動② |
| | サマーファッションコンテスト実施に向けた活動③ |
| | サマーファッションコンテスト実施に向けた活動④ |
| | サマーファッションコンテスト実施に向けた活動⑤ |
| 7月 | サマーファッションコンテスト　事前審査会実施 |
| | サマーファッションコンテスト事前準備・リハーサル |
| | サマーファッションコンテスト実施 |
| 9月 | サマーファッションコンテスト　まとめ |
| | 中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動① |
| | 中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動② |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | 学生実行委員会には【学生イベント企画委員・学生広報委員・学生ECクラブ・サマーファッションコンテスト実行委員・卒業企画実行委員】が含まれる |
| 教材、資料等 | |
| 評価方法<br>対象・比重 | 行事・イベント実施まで準備期間の取組み50%、行事・イベント実施日の取組み40%、出欠10%*取組み姿勢　優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |

| 学科名 | プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分類 | 必修 | ○ | 必須<br>選択 | | 学年 | 1・2・3・4 | 年 | 学期 | 前期 | | 後期 | ○ |
| 授業科目名 | | | | | | | | | 単位 | | | |
| イベント・学校行事 | | | | | | | | | 1単位 | | | |
| 担当教員 | 関連講師 | | | | | 科目区分 | 講義 | 5% | 演習 | | 実習 | 95% |
| 授業目的 | ・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける<br>・イベントや行事実施にあたって必要とされる企画・準備・実施を通し、社会性・協調性を身に付ける。<br>・学校行事の運営を通して職業人としての責任と自信を涵養。 | | | | | | | | | | | |
| 到達目標 | ・担当、役割に応じた運営を行い、学科・学年を超えてコミュニケーションを取り合い、イベント・行事を成功へと導く。 | | | | | | | | | | | |

| 授業概要 |
|---|
| 習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。<br>各行事・イベント毎に担当・指導する講師のもと、各自が自分で考え報・連・相を取りながら実習を行う。 |

| 授業内容（授業展開） | |
|---|---|
| 時期 | 授業内容 |
| 10月 | 中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動③ |
| | 中・高校性ファッション画コンテスト　表彰式事前準備及びリハーサル |
| | 中・高校性ファッション画コンテスト　表彰式実施 |
| 11月 | 中・高校性ファッション画コンテスト　表彰式　まとめ |
| | 学生イベント企画　活動①　ドレスコードイベント |
| | 学生イベント企画　活動②　ドレスコードイベント |
| | 学生イベント企画　活動③　ドレスコードイベント |
| 12月 | 学生イベント企画　活動⑤　スポーツ大会 |
| | 学生イベント企画　活動⑥　スポーツ大会 |
| | 卒業企画発表　実施に向けた活動① |
| 1月 | 卒業企画発表　実施に向けた活動② |
| | 卒業企画発表　実施に向けた活動③ |
| | 卒業企画発表　実施に向けた活動④ |
| 2月 | 卒業企画発表　実施に向けた活動⑤ |
| | 卒業企画発表　事前準備・リハーサル |
| | 卒業企画発表　実施 |
| 3月 | 卒業企画発表　まとめ |
| | 学生実行委員会に関して　次年度に向けた移行準備 |

| | |
|---|---|
| 留意事項 | 学生実行委員会には【学生イベント企画委員・学生広報委員・学生ECクラブ・サマーファッションコンテスト実行委員・卒業企画実行委員】が含まれる |
| 教材、資料等 | |
| 評価方法<br>対象・比重 | 行事・イベント実施まで準備期間の取組み50%、行事・イベント実施日の取組み40%、出欠10%*取組み姿勢　優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。 |